

皮膚感作性試験用細胞

経済協力開発機構（OECD）が定める国際的な試験法として承認された、新規皮膚感作性物質検出試験法（IL-8 Luc 法, OECD TG442E）に使用できる細胞です。

※細胞のみの製品です。

※本製品は研究用です。研究用以外には使用できません。

Point

化粧品研究をはじめとする化学物質の安全性評価時の動物実験の代用として有用です。



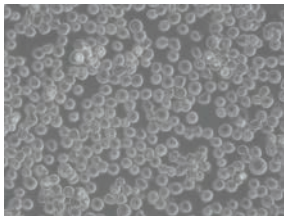
MEMO

皮膚感作性評価

皮膚感作性評価とは、化学物質の安全性を検定する過程における重要な項目の一つです。皮膚感作性の評価方法として、従来は動物実験が広く用いられてきました。しかし、化粧品開発における動物実験は、EU や米国の一部の州では完全に禁止されており（動物実験によって開発された化粧品の販売も禁止）、世界的にも規制が厳しくなりつつあります。そのため、代替手法のニーズが高まっています。

特長

- ヒト単球由来の安定細胞株で、インターロイキン-8（IL-8）プロモーター下流に橙色ルシフェラーゼ（Stable Luciferase Orange, SLO）が配置された組み換え遺伝子および内部標準遺伝子として GAPDH プロモーター下流に赤色ルシフェラーゼ（Stable Luciferase Red, SLR）が導入されています。
- 感作性発現時の樹状細胞活性化に伴う IL-8 発現量の変化を、ルシフェラーゼレポーターアッセイにより測定し、感作性を評価します。



皮膚感作性試験用細胞 THP-G8

アプリケーション

- 化粧品研究をはじめとする化学物質の安全性評価時の動物実験の代替として有用

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
皮膚感作性試験用細胞 (THP-G8)	GPC	GP-H01-P15 液室	1 kit / ご照会下さい
凍結バイアル 1 本 (細胞数: 2.0×10 ⁶ 個/バイアル)			

ご購入時のご注意



ご注文の際は、(株)ジーピーシー研究所の試料譲渡契約条件にご同意いただいた上で、専用の購入申込書へのご記入が必要となります。

詳細はフナコシ Web をご覧いただくか、当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。

サーカディアンリズム評価細胞

サーカディアンリズム調整物質のスクリーニングや機能評価に有用なマウス胚性線維芽細胞です。

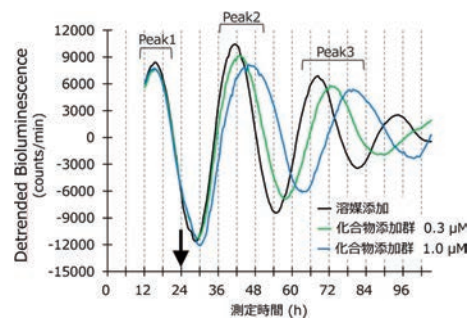
※細胞のみの製品です。

※本製品は研究用です。研究用以外には使用できません。

Point

時計遺伝子の一つである *bmal1* 遺伝子のプロモーター下流に発光タンパク質 Eluc を連結したコンストラクトを導入したトランスジェニックマウスから樹立された胚性線維芽細胞です。

生物発光によってサーカディアンリズムの変動を測定できます。



キナーゼ阻害物質添加試験

化合物添加前はそろっていた発光ピークのタイミングが、添加後時間が長くなるとずれていく様子が見られ、化合物添加がサーカディアンリズムに影響を及ぼしていることが分かる。

矢印: 化合物添加時間

特長

- 細胞の発光強度を経時的に計測することで *bmal1* 遺伝子の発現リズムを測定できます。
- サーカディアンリズム調整機能が期待される化合物などを培地に添加し、それによる発光強度の変化から化合物が有する体内時計調整能を評価することが可能です。
- ※細胞の発光強度の測定には、生物発光を測定できるルミノメーターが必要です。長期的な発光強度の測定には、培養機能付き自動発光測定機能を有した機器の使用を推奨します。

アプリケーション

- サーカディアンリズムや時計遺伝子の研究
- サーカディアンリズム障害の研究
- 医薬品シーズのスクリーニング
- 機能性成分のスクリーニング
- 農水産物などの機能評価
- サーカディアンリズムに関連する生理現象・疾患などの研究

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
サーカディアンリズム評価細胞	GPC	GP-M02-P2 液室	1 kit / 200,000
凍結バイアル 4 本セット (細胞数: 5.0×10 ⁵ 個/バイアル)			

※本製品を用いて解析を行う受託サービスもご提供いたします。お手持ちの薬剤ライブラリなどの被験物質が、サーカディアンリズムにどのような影響を与えるかをリアルタイムで追跡できます。詳細は当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。

